

第二次美祿市総合計画

総合戦略

専門部会

(案)

令和元年7月30日現在

美祿市

重点戦略 1

「働きたい！」希望を実現させる魅力産業の創出

戦略方針 1 観光資源を活かした産業と雇用の創出

秋吉台や秋芳洞といった全国的にも知名度のある観光地と世界にも通用するジオパークという資源を活かし、他にはないコンテンツづくりや情報発信に努めながら、新たな“美祢市ファン”や本市を選んで訪れる外国人観光客を増加させることで、観光産業の進展と雇用の創出を目指します。

楽しみながら地域に経済の流れを生み出す着地型観光の実現などに向け、マーケティング等の手法を用いながら観光を軸に地域経済を活性化し、地域の多様な関係者をまとめられるDMOの機能を構築することで、産業を活性化し、新たな雇用の創出に繋がります。

具体的施策

1-1-1. DMOを核とする観光地域づくりの推進

内容	観光における経済の活性化を目指し、市全体の観光関連団体の舵取り役として「(仮称)美祢市観光まちづくり組織(DMO)」を設置します。同時に地域の多様な関係者と連携し、着地型観光を造成するなど、観光を軸とした市内産業における経済の活性化を促します。		
KPI	項目	現状値 (H30)	目標値
	三洞入洞者数	499千人	540千人
	DMO組織の設立	-	設立
	道の駅の商品販売額(単位:千円)	279,072	287,400

1-1-2. グローバル観光戦略の推進

内容	美祢市台北観光・交流事務所を拠点とし、山口県などと連携しながら東アジア観光客の獲得に取り組みます。また、欧米の観光客の獲得に向け、受け入れ体制を整備します。海外市場に向けた効果的な情報発信を強化し、インバウンドの増加を図るとともに、市の特色を活かした体験型観光の造成やジオパーク活動、田舎体験などのプログラム化を図り、感動体験の波及効果を促進させ、更なる外国人観光客と観光消費額の増加を目指します。		
KPI	項目	現状値	目標値
	美祢市を訪れる外国人観光客数	51,220人 (H30年度)	133,000人
	Wi-Fi設置数	11(H30)	13
	観光地キャッシュレス導入店舗割合(%)	2(H31)	40

1-1-3. 観光施設等の受入環境の整備

内容	本市観光のイメージアップを図るため、老朽化した観光施設等の改修・更新、 撤去等 を行い、観光客のおもてなしなどサービス体制の強化と受入体制の改善と 充実 を図ることで、観光客の増加と滞在時間の拡大につなげ、地域経済効果の循環と波及効果を増幅させます。		
KPI	項目	現状値	目標値
	トイレの洋式化率	40%(H30年度)	60%
	美祢市立博物館等施設基本計画の策定	-	策定
	みねシュラン3★認定者数	12人(H30年度)	27人

戦略方針 2 食に深く関わる農林水産資源の高付加価値化

本市の農業ブランドを牽引する厚保くり・秋芳梨・美東ごぼう等の産業振興や新たな農産品開発により、農業等の活性化と担い手の確保を図るため、全国に通用するブランドに育てる取り組みを強めます。

また、観光産業の競争力強化と新たな雇用の発掘のため、農業と連携した食の開発を進めることで、生産の拡大、地域力の育成と経済の好循環につなげます。

そのため、加工品など地域ブランドの充実に向け、特産品開発の掘り起こしを進めるとともに、ブランド基準の強化を図り、品質、イメージと商品力を向上させ、効果的なPRや販路の拡大を進めます。

また、生産・加工・販売まで一貫した体制の確立を促進します。

具体的施策

1-2-1. 全国ブランドの育成と六次産業化の推進

内容	秋吉台やジオパーク活動などを活用した本市産品のブランド戦略を推し進め、農林水産物の高い品質基準やマーケティングによるブランド戦略、六次産業化や食の開発による地域ブランドの開発を図るとともに、道の駅等やメディアなどを活用した流通を促進します。 また、山口県等との連携強化や都市圏との関係構築によって地産外商・地産都消などの販売促進の手法を充実させ、販売額の増加につなげます。		
KPI	項目	現状値	目標値
	産品購入意欲度（ポイント）	20.2	22
	食品想起率（ポイント）	0.7	1.3
	食・土産物開発支援数(目標は累計)	3(H30)	15
	ミネコレクション 加工品 売上額(単位:千円)	34,484	43,105

1-2-2. 農林水産業の振興と担い手の育成

内容	市の農林水産業の特長を活かした産業力強化と展開を図るため、豊かな土づくりや品質向上、新たな開発などを通して農林産物の高付加価値化を図り、儲かる農業へ向けた体制づくりを行います。また、都会への流通を強化し、生産拡大を目指すことで、新規就農者の増加や営農法人の経営の多角化など農林水産業を継続できる基盤を確保します。		
KPI	項目	現状値	目標値
	農林水産物の高付加価値認定商品数	1品(H30)	2
	集落営農法人数	24(H30)	27
	株式会社化した集落営農法人数	1(H30)	3
	厚保くり、秋芳梨、美東ごぼう生産量(単位:トン)	518(H30)	550
認定新規就農者数(青年等就農計画H24～累計)	10(H30)	13	

戦略方針 3 サービス業、商工業の多様な雇用の場づくり

美祿社会復帰促進センターと市内企業との連携を促進するため、意識醸成などを強化し、センター生等の就労機会の創出や雇用につながる具体的な取組につなげます。

また、企業誘致や市内企業への就労促進など、事業拡大や新規の事業展開などを促進し、多様な雇用の場づくりを進めます。

具体的施策

1-3-1. 共生がつなぐ仕事づくり

内容	美祿社会復帰促進センターのセンター生の社会復帰への支援及び総合支援学校生の就労支援などを行い、新たな就労の取組と雇用の創出に向けた活動を強化します。		
KPI	項目	現状値	目標値
	美祿社会復帰促進センターでの作業・職業訓練に関わる市内企業の数	7(H30)	10
	センターからの外部通勤作業に係る受入事業者数	1(H30)	2

1-3-2. 地元企業の活性化・人材育成への支援

内容	高校生・大学生・求職者に地元企業の魅力を伝え、高校生等の地元への就業促進につなげるとともに、雇用安定化への支援を継続して行います。また、情報発信や企業連携などを強化し、新たな事業連携やビジネスチャンスの機会を創出します。		
KPI	項目	現状値	目標値
	市内企業のキャリアガイダンス開催回数	1(H30)	2
	市内の高校の新卒者の美祿市内就職率(%)	9(H30)	15

1-3-3. 事業所誘致の推進

内容	十文字原総合開発事業用地の有効活用を目指すとともに、IT企業・サテライトオフィスについても、市内のインフラの整備状況を確認しながら企業誘致を進めます。		
KPI	項目	現状値	目標値
	IT企業、サテライトオフィス等誘致・進出企業数	-	1社
	工業団地(十文字含む)誘致・進出企業数	協定締結数 1社(H28) 1社(H29)	1社 (5年累計)

戦略方針 4 起業・イノベーションの創出

地域に根ざした産業振興を目指すため、既存の産業の活性化や地域のサービス生産性の向上を図るとともに、起業家の育成や起業に向けた支援を行い、雇用機会の創出につなげます。

大学や研究機関、企業等の研究資源や人材を活用するため、関係機関等の連携促進を図り、地域の発展に寄与するシステムを構築します。

近年では、ICTやネット環境の発達に伴うシェアオフィスやコワーキングスペース等を活用した新たな働き方が広がってきており、積極的な起業を促進できるよう、ICT環境を基盤とした働く場や働くスタイルへの支援を行います。

具体的施策

1-4-1. 起業等支援の推進

内容	行政・商工会・市内金融機関により構成された美祢市創業支援協議会の機能を強化し、起業や事業承継の促進を図ります。		
KPI	項目	現状値(年度)	目標値
	起業支援数	10件(H30)	12件
	事業承継支援数	-	1件

1-4-2. イノベーション、シェアリングエコノミーによる地域産業の活性化

内容	大学、研究機関、企業等の連携を促進するため、研究成果や民間企業のニーズのマッチング・連携の支援を行い、市内企業等のグローバル化、ベンチャーキャピタル等を進める など 、新たな事業開発に向けた支援を行います。		
KPI	項目	現状値(年度)	目標値
	遊休資産活用支援事業者数	-	1
	美祢あきない活性化応援事業支援数	5 (H30)	6
	産業イノベーション推進会議参加企業・団体数	4(H31)	6

1-4-3. ICT等の活用による地域産業の活性化

内容	情報通信技術(ICT)を有効に活用し、地域のサービス水準の維持・向上や柔軟な就労環境の整備を進めます。また、生活に身近な分野でのIoT、AIの活用を推進し、テレワークの推進や流通、経済活動の活性化、ビッグデータ処理技術の導入を進めます。 市内商工業者に対しても、キャッシュレス化の導入を推進するとともに、インバウンドに対応できるよう受入環境の整備を行います。		
KPI	項目	現状値	目標値
	テレワーカーの人数	-	1
	キャッシュレス決済導入店舗割合(%)	-	40

重点戦略 2

「結婚・産み育てたい！」願いが叶う環境の充実

戦略方針 1 結婚・出産できる環境整備

若者の人口が減少している中、社会環境も大きく変化しており、ライフスタイルが多様化しています。結婚や出産への価値観も様変わりしており、結婚年齢を迎えた人たちが必要と感じている支援を見極め、ニーズに即した支援を進めるとともに、若者が安心して結婚・出産できる安定雇用や定住環境の整備を進めます。

また、妊娠から出産、子育てまで、切れ目なく子育て世代を包括的に支援する体制を構築するため、専門の支援人材の確保や、子育て世代包括支援センターを設置するなど、環境整備を行います。

具体的施策

2-1-1. 出会いの機会の創出

内容	結婚を希望している若者に対して、相手を見つけることができる機会を提供し、市内定住に結びつけられるよう、潜在的なニーズの把握や支援の段階、方法などを工夫しながらきっかけづくりを支援します。		
KPI	項目	現状値	目標値
	山口県結婚応援センター登録支援数(H29年度以降累計)	1件(H30)	8件
	市内出会いイベント実施件数(H29年度以降累計) 婚姻件数(届出件数)	0件(H30) 84件(H29)	5件 調整中

2-1-2. 結婚への支援

内容	本市での結婚を支援するため、国の少子化対策施策と連携し、結婚生活の支援を行います。		
KPI	項目	現状値	目標値
	結婚・新婚生活支援補助件数(H29年度以降累計)	6件(H30)	21件

2-1-3. ネウボラの推進

内容	山口県の目指す「やまぐち版ネウボラ」と連携し、妊娠期から子育て期までの包括的な相談支援を行います。美祢市子育て世代包括支援センター(仮)を設置するとともに、各地域の子育て支援センターと連携を図り、切れ目のない支援を行います。		
KPI	項目	現状値	目標値
	美祢市子育て世代包括支援センター(仮)の整備 地域子育て支援拠点延利用児童数	- 1,522人(H30)	設置 1,500人

戦略方針 2 子育てサポートの充実

ライフスタイルの多様化や国の働き方改革などにより、出産や子育てへの考え方にも変化が起こっています。働きながら子育てをする家庭の負担軽減など、求められる支援の充実と活用しやすい制度の構築を行います。

また、子ども達が安全で安心していきいき育つ環境づくりのために、行政だけでなく市民、関係団体、事業者などと連携した、地域が一体となった子育て環境と体制を構築します。

具体的施策

2-2-1. 子育て世代の負担軽減

内容	子育て世代の心理的・肉体的・経済的負担を軽減し、2人目、3人目と、子どもが産みやすい状況をつくるため、健診や育児等に係る総合的な支援を行います。 また、今後の子育てに関する負担軽減に向けて検討を行います。		
KPI	項目	現状値	目標値
	ファミリーサポートセンター会員数	391人(H30)	400人

2-2-2. 子育てが楽しい環境づくり

内容	子育て世代を地域が支え、夫婦が理想とする子どもの数の実現を図るため、子育てすることが楽しいと思える環境と支援体制を整えます。また、地域毎に集える新たな子育て事業を展開します。		
KPI	項目	現状値	目標値
	放課後子ども教室延べ事業参加人数	5,000人 (H29)	5,000人

2-2-3. ワーク・ライフ・バランスの推進

内容	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現のため、市内の事業所等における雇用・配置・育成等あらゆる側面において理解を促進し、労働者が多様な働き方で活躍できる社会をつくれます。		
KPI	項目	現状値	目標値
	ワーク・ライフ・バランス推進セミナー回数	-	1
	やまぐち男女共同参画推進事業者数	11	12

戦略方針 3 選ばれる教育環境の充実

ふるさとに愛着をもち、本市が持つジオパークという特色を活かしながら、ふるさとへの誇りの醸成を行う教育環境を創出するため、ふるさと教育・ジオパーク教育を実施します。

「MINE ENGLISH VILLAGE」や「中学生海外派遣事業」などを通じて、国際社会で生き抜くためのグローバル人材を育成するとともに、子どもたちの主体的・協働的な学びやICTの効果的な活用を図り学力の向上を目指します。

また、引き続きみね型地域連携教育など、学校間や学校と家庭・地域が総がかりとなって教育に関わる体制を強化し、小学校から中学校及び高校まで一貫した個性豊かな学び・育ちを促す環境をつくることで、美祢市で子育てをする魅力を伝えます。

具体的施策

2-3-1. 郷土に誇りが持てる教育活動

内容	地域と一体となったふるさと学習やジオパーク活動など、本市の魅力が再認識できる学習や教育活動を行います。また、郷土を愛し、地域の未来を担う人材を育成するため、伝統芸能の保存と育成活動を支援します。 美祢市の特色を活かしつつ、小中高の縦の連携や地域をまたいだ横の連携を強化しながら「みね型地域連携教育」を推進し、ふるさと教育の魅力化を行います。		
KPI	項目	現状値	目標値
	美祢市に愛着を持つ小・中学生の割合	64.4%(H30)	70.0%
	市内中学校へ入学する生徒の割合	92.5%(H31)	95.0%
	小中高等学校における地域と連携した行事数	165回(H30)	170回
	小中学校と高等学校の異校種間が連携した行事数	6回	10回
	市内高校へ入学する生徒の割合	45.3%(H30)	

2-3-2. グローバル人材の育成及びICT情報活用教育の充実

内容	国際感覚あふれる人材の育成に向け、英語教育の充実や国際教育の推進など、グローバル教育に向けた環境整備を進めます。また、情報通信技術を活用し、プログラミング学習やICT機器を活用した教育環境の充実に努めます。		
KPI	項目	現状値	目標値
	中学3年生での英語検定3級以上の合格者割合	30.7%(H30)	50%
	遠隔授業による国際交流実施校数	-	
	授業におけるコンピュータなどのICTの使用日数割合	11.7%	75.0%

2-3-3. 次世代を担う子どもたちを育む、教育環境の充実

内容	子どもたちが希望する進学、就職先への行程をサポートできるよう学校や地域、家庭などが一体となって「生きる力」を育むキャリア教育を推進します。 子どもが安心して学校生活を送ることができるようスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど相談体制の充実を図ります。 小学校から中学校までの9年間のつながりを考えたコミュニティ・スクールの取組に加えて、引き続き幼稚園や保育所から高校までが連携を図り、様々な活動を通じて地域貢献ができる環境を整えます。			
	KPI	項目	現状値	目標値
		関わりやつながりを大切にしている児童・生徒の割合	94.4%(H30)	95.0%

重点戦略 3

「訪れたい、参加したい、住んでみたい！」MINEの発信と交流の強化

戦略方針 1 交流人口の拡大

本市に訪れ、関心のある人を増やすため、取組の充実や都会でのPR宣伝など本市の発信力を強化し、交流と関係人口づくりを実施します。また、一方で定住促進対策と合わせた市の環境整備を進めます。

本市の魅力のプロモーション展開の強化を図るため、イベント・交流事業の充実、ジオパーク活動、農林水産物、地域ブランドのPRなど、多様なジャンルの素材の魅力化を図り、市のブランド力を高めます。

また、一方で都会からの移住者や外国人を受け入れる市民の意識づくりが必要なことから、地域をあげた受け皿づくりを促進し、定住の地として選ばれる魅力の向上と発信力の強化を進めます。

具体的施策

3-1-1. PR・プロモーションの推進

内容	全国・世界から選ばれるまちを創造するため、本市の持つ地域資源を活用し、人々を魅了するプロモーション活動と情報発信により、交流人口と定住人口の増加を目指します。特に、観光客や地方への移住希望者等が求めるニーズを把握し、的確な宣伝を新たな視点・手法により情報発信を強化します。		
KPI	項目	現状値 (H30)	目標値
	市公式フェイスブックフォロワー数:(人)	2,504	2,700
	観光協会ホームページアクセス数	580,000	750,000
	美祢市への情報接触度	826位	750位
	美祢市の魅力度	774位	700位
	美祢市への観光意欲度	704位	650位

3-1-2. スポーツ・イベント等の拡大

内容	秋吉台を中心としたサイクル、マラソンやウォークなど、スポーツや運動等を通じたイベントの魅力度の強化を図り、交流人口の拡大を図ります。また、市民に根付いた誇りとなるイベントの定着化を図ると共に、その魅力度をアップさせ、交流人口の拡大を行います。		
KPI	項目	現状値 (H30)	目標値
	スポーツツーリズム参加者数	3,568人	4,890人

3-1-3. 国際交流の推進

内容	<p>友好都市との交流や市内での小・中学生・高校生や大学と連携した交流事業を進めます。また、田舎体験交流など需要の高まりを活かし、地域自然資源を活用した交流拡大のため受入環境の整備を地域と共に促進します。</p> <p>本市の魅力の世界に伝える国際交流を活発化させるとともに、市民意識の醸成を図るため、多文化共生などの事業展開を行います。</p>		
KPI	項目	現状値 (H30)	目標値
	市内中学・高校生の海外研修参加者数(受入含む)	23	
	多文化共生事業参加者数(累計)	-	200人

戦略方針 2 関係人口のネットワーク構築と支援の拡大

本市の将来的な関係人口の拡大を図るため、関係する多様な人とのつながりを整理し、今後の市の発展や施策を応援・支援する人、団体などとの関係の構築化を進めます。

また、秋吉台を中心としたツーリズムの強化や地域・都市間交流の促進などを通じて、本市に好印象を持ち活動等を共に行う関係人口のネットワークづくりを行い、新たな応援人材の確保に繋がります。

具体的施策

3-2-1. ふるさとがつながり関係づくり

内容	<p>出身者、勤務地の関係を軸とした関係づくり、スキル・知見を有した人材の活用、副業・兼業制度の活用による関係人口づくりを行います。</p> <p>また、ふるさと納税を通じた関係づくりや第二のふるさとづくりなど本市を応援する体制を構築します。</p>		
KPI	項目	現状値 (H30)	目標値
	ふるさと納税寄付件数	2,928	3,666
	副業制度活用人材数(累計)	-	

3-2-2. 都会と地域をつながり関係づくり

内容	<p>都市圏住民や子ども・若者を通じた田舎体験、農林業体験やツーリズムなどを通じて、都市圏などと本市の地域間交流を促進します。また、ブランド産品などによる都市圏などへの外資により、リピーターと美祢市ファンの獲得を図ります。</p> <p>また、着地型観光や体験型研修旅行の受け入れなど、地域などの受入環境の整備を促進します。</p>		
KPI	項目	現状値	目標値
	「美祢旅」参加者人数	370人(H30)	500人
	ジオツアー参加者数	1,196人(H30)	1,800人

戦略方針 3

移住・定住者に選ばれる環境整備の促進

移住・定住に関する取組については、定住に関する住宅取得施策など一定の効果があり、転入・移住者に関しては空き家に関する中古物件の人気があり、施策の継続と充実が求められています。

地域おこし協力隊員が各地域で活躍しており、更なる活動の充実と定着施策、及び隊員の拡大などを通じて都市圏との接触度を増やし、移住促進に繋げる必要があります。

また、後期高齢者の増加が見込まれる中、その高齢者を支える人材の確保や、働き盛り世代やファミリーなどを受け入れられる体制が非常に重要となってきます。シルバー世代だけでなく、誰もが住みよいと感じられる環境が提供できるよう、ターゲットや手法を絞り込み、より具体的な魅力の整理や伝え方の工夫に取り組みます。

具体的施策

3-3-1. 定住支援・移住環境の整備

内容	若者・子育て世帯をターゲットとした定住支援の強化及び空き家等情報バンクの充実と美祢市の魅力の発信を強化させた移住者誘致対策を進めます。 また、都市圏の高齢者に美祢市を選択してもらえるようターゲットや手法を絞り込み、より具体的なアプローチをかけるとともに、高齢者が求める支援の形態を作り情報発信を行います。		
KPI	項目	現状値	目標値
	UIターン受入人数	102人(H30)	
	空き家等情報バンク登録物件の成約件数(3年平均)	8.6件 (H28-H30)	8件
	奨学金貸付による看護師確保数(累計)	11件(H30)	31件

戦略方針 1 安全・安心な環境の提供

本市は、全国的に見て、地震の発生回数も少ないという特色があります。また犯罪の発生率も少ないという統計結果があります。これまでの取組により犯罪認知件数の減少や人口に占める消防団員割合の増加、安全安心メールの登録件数の増加などの成果が上がっています。

人口減少と少子高齢化が進行する中、国で示されている『我が事・丸ごと』地域共生社会の実現に向けて、高齢者や子育て家庭、障害のある人など誰もが互いを認め合い安心して暮らせるよう、官民が一体となって地域における包括的なケア体制を構築していくことが求められています。

そのため、災害に強い安全なまちを維持しつつ、医療・福祉の充実と地域内における支え合いの仕組みの構築を進め、安心してずっと住み続けられる環境の充実に取り組みます。

具体的施策

4-1-1. 防犯・防災対策の充実

内容	地震や風水害などの様々な災害に対する地域コミュニティの役割を明確にし、消防団や自主防災組織の充実、ICTの活用による迅速な避難行動につなげる仕組みをつくるなど、住民が地域防災の担い手となる環境を整備します。 また、地域ぐるみで防犯体制を充実させるとともに、多様なツールにより防犯・犯罪情報をリアルタイムで発信できる注意喚起の体制を整備します。		
KPI	項目	現状値	目標値
	人口千人当たりの犯罪認知件数	1.8	1.3
	人口に占める消防団員数の割合	3.5%(H30)	3.5%

4-1-2. 地域包括ケアシステムの深化・推進

内容	医療・介護・介護予防・住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される地域包括ケアシステムの深化・推進を図ります。		
KPI	項目	現状値	目標値
	市民千人当たりの看護師数	8.9人	11.6人
	要介護認定者のうち、状態区分が改善した人の割合	13.4% (H30)	14.2%
	認知症サポーター養成講座受講者数(年間)	304人(H30)	300人

4-1-3. 既存ストックのマネジメント強化

内容	その多くが昭和中期に整備された公共施設や公共インフラ等が老朽化していくことが課題となっていることから、これらの維持管理について民間のノウハウ等も活用しながら、適切にマネジメントし、民間の技術開発や地域の創意工夫を活用したPPP/PFI等による効率化を進めます。		
KPI	項目	現状値	目標値
	PPP/PFI導入検討数	0施設	2施設
	公共施設マネジメント(削減面積)	0㎡	22,500㎡

戦略方針 2 都市拠点・地域拠点の整備

将来に渡って誰もが住みたいまちとするためには、便利で生活しやすいまちの基盤づくりが必要となります。そのため、車がなくても生活できるよう、地域公共交通網の確保を進めるなど、各拠点を結ぶネットワークを充実させます。

また、快適でにぎわいのあるまちづくりを進め、利便性の高い生活サービス機能を確保するため、住民等の協力を得ながら、公共施設、商業、医療・福祉等の生活サービス機能や居住の維持・誘導による、集約型都市構造を目指します。

具体的施策

4-2-1. 都市拠点・地域拠点と地域のネットワーク化による利便性の確保

内容	市民が不便なく生活サービスを利用できるよう、公共施設、商業、医療・福祉等の生活サービス機能を維持・誘導するとともに、都市機能の集約化を進めます。 また、公共交通網の再構成をはじめとする周辺を含めた交通ネットワークの形成を進めます。		
KPI	項目	現状値(年度)	目標値(年度)
	1日当たりのジオタクの利用者数	64人(H30)	79人(R4)
	主要結節点バス停利用環境改善数	-	4(R3)
	都市・地域拠点への都市機能施設の新たな立地数	0	1(R6)
	商業施設との地域公共交通連携事業取組数	1	3(R3)

4-2-2. 公共施設の適正化と地域コミュニティの拠点づくり

内容	人口規模に合った適正化により公共施設の利便性を向上させるとともに、地域コミュニティの拠点づくりを行います。		
KPI	項目	現状値	目標値
	公共施設マネジメント(削減面積)	0㎡(H30)	22,500㎡

4-2-3. 公共交通機関の利用促進

内容	長門市・美祢市・山陽小野田市で構成するJR美祢線利用促進協議会を中心に、観光面も含めたJR美祢線の利用を促す施策の充実を図り、JR美祢線利用者の増加を目指します。また、市内のバス利用についても乗り継ぎなどの2次交通の充実に取り組みます。		
KPI	項目	現状値	目標値
	1日当たりのJR美祢線の利用者数	478人(H29)	484人
	市内に路線バスを乗り入れる事業者数	6事業者(H30)	6事業者

戦略方針 3 住み続けられる協働と個性豊かなまちづくりプロジェクト

人々の生活・経済活動の基盤である地域の活力を維持していくうえで、民間団体が主体となるまちづくりの取組を活性化し、企画・立案の段階から官民が連携して目指す方向性などを共有しながら進められる、協働のまちづくりによる体制づくりを進めます。

公民館単位等生活圏で持続可能な地域づくりの取組や世代や年代に関わらず活躍できる体制づくり、地域を牽引するリーダーの育成により、地域の個性を活かし、住み続けられるまちをめざします。

また、大学や企業、地域等と連携し、民間の取組やノウハウを活かすとともに、国の制度等を活用しながら地域振興や中核的産業の振興、専門人材の育成等を推進し、より住みよい環境の構築を進めることで、若者の定着を促します。

具体的施策

4-3-1. 公民館単位等の生活圏の維持（「小さな拠点」の形成）

内容	将来にわたって地域住民が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域住民を主体とした公民館単位等生活圏の将来像の合意形成、地域運営主体の確立、生活サービスの創造を支援します。 地域で検討したプロジェクトを地域自身で推進することで、「ふるさと」の価値を再認識し、「ふるさと」を愛することの大切さを伝え、田園回帰にもつながるよう取組を進めます。		
KPI	項目	現状値	目標値
	地域運営組織の法人化数	-	1法人
	魅力発掘隊員延べ隊員数	3人	5人

4-3-2. 全世代が活躍する協働のまちづくり

内容	地域の活動グループ・団体の活動を促進するなど、若者・女性・元気な高齢者がいきいきと活動できる支援を行い地域の活性化を図ります。また、地域のコミュニティビジネスの創出を支援し自立した地区づくりを推進します。		
KPI	項目	現状値	目標値
	コミュニティビジネス取組数	-	1件
	コミュニティ助成事業取組数(拠点施設整備を除く)	3件	3件

4-3-3. 高校・大学や企業等との連携と協働によるまちづくり

内容	高校・大学や企業等と連携や国が進める人材育成支援などを活用し、地域の課題解決を図るなど、住みよいまちづくりやコミュニティ形成を図ります。		
KPI	項目	現状値	目標値
	連携協定締結数	11協定 (H30)	13協定
	協働のまちづくり連携取組事業数		

4-3-4. 人材育成支援の充実

内容	地方創生を担う専門人材や地域を引っ張っていくリーダーの確保、育成、活躍が重要視されていることから、国の進める「地方創生人材支援制度」や「地方創生カレッジ」などを活用した人材の育成を推進するほか、国、県、民間事業者等外部機関との人事交流を推進します。		
KPI	項目	現状値	目標値
	外部機関との人事交流数	1人	1人
	地方創生指定セミナー受講者数	0人	3人

重点戦略

5 「持続可能なまちづくり」の推進

戦略方針 1

持続可能な開発目標（SDGs）の取組推進とソサエティ5.0で実現する社会

SDGsとは、先進国、開発途上国を問わず、世界全体の経済・社会・環境の三側面における持続可能な開発を統合的取組として推進するものです。そして、高齢化、環境問題など、諸課題を解決するため、「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「住み続けられるまちづくりを」「陸の豊かさを守ろう」など17の取組目標をパートナーシップで達成するために掲げています。

本市が取り組むジオパークの活動は、SDGsの17の取組目標の一つで、11番目の目標である「住み続けられるまちづくりを」の達成に繋がります。民間企業と行政との連携を促進し、地域の社会的課題の解決に向けた多様な関係者の参画により、SDGsに取り組むことで、「高齢化社会に対応したまちづくり」「活力と魅力あるまちづくり」に向けた住民参加型の地域づくりを進めます。

また、人工知能(AI)やIoT等がもたらす技術革新は、地域、年齢、性別、言語等による格差なく、多様なニーズ、潜在的なニーズにきめ細やかに対応したモノやサービスを提供することができる社会へと変化しつつあります。そのような中、ソサエティ5.0による「経済的発展と社会課題の解決を両立し、人々が快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることのできる、人間中心の社会の実現」を目指します。

具体的施策

5-1-1. SDGs達成に向けた取組の推進

内容	2030年までに達成を目指す持続可能な開発目標(SDGs)の実施を促進するため、未来都市計画の策定を目指し、行政及び企業、関係者による積極的な取組を進め、地域活動を促進するための普及促進活動を進めます。		
KPI	項目	現状値	目標値
	SDGsを知っている市民の割合	-(未調査)	
	SDGs未来都市計画の策定		
	多文化共生社会事業参加者数(再掲)		
	森林間伐面積		

5-1-2. 気候変動への適応を進める地域づくり

内容	温室効果ガスの排出削減や気候変動等への適応の推進に向け、美祢市地球温暖化対策実行計画を策定し、再生可能エネルギーや省エネルギーの取り組みを推進します。		
KPI		現状値	目標値
	温対法に基づく美祢市実行計画の策定	1	1

5-1-3. AIや情報技術の進化による新しい社会（ソサエティ 5.0）の実現に向けた取組の推進

内容	全てのひととモノが情報通信によりつながり、新たな価値を生み出し、ソサエティ5.0で象徴されるAI・IoTやロボティクスなどの革新的な技術の導入を積極的に推進します。 また、新しい情報技術の活用により様々なニーズに対応できることで、ひとり一人が快適で活躍できるまちづくりを推進します。		
KPI	項目	現状値	目標値
	地域IoTの実装事業への支援数		
	マイナンバーカード取得率	12.1% (H30)	17.7% (R5)
	マイナンバーカード活用サービス数	0 (H30)	1 (R5)

戦略方針 2 ジオパーク活動による持続可能なまちづくり

「ジオパーク」とは、それぞれの地域にある自然や文化を保護・保全しつつ、その学術価値を理解し、ジオツーリズム等に活用することで地域の振興につなげ、地域の持続可能な発展を目指す取り組みです。ジオパーク活動の主役は住民ひとりひとりであり、個々の市民や市民団体が、地域の自然や文化を理解し、地域の将来を考え、自らが主体となって活動することで新しい取組が始まり、持続可能なまちづくりへと繋がっていきます。

このジオパーク活動のプログラムを活用し、秋吉台や秋芳洞をはじめとする貴重な自然遺産を保全しつつ、ジオツアーや体験型ツアー等を通じて「Mine 秋吉台ジオパーク」の魅力を発信することで、国内外の交流を拡大させ、地域経済の循環を促進し、持続可能な発展を目指していきます。

5-2-1. ジオパーク活動の強化

内容	ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取り組みを通じ、市民主体の活動を各種団体などと連携して行います。また、国内・国外のネットワークを通じ、交流活動を推進するとともに、受入環境の整備を行います。		
KPI	項目	現状値 (H30)	目標値
	ジオ講座参加者数	1,648人	2,091人
	ジオツアー参加者数	1,196人	1,800人